

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(花コンサート)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		中澤	64355	

事業の概要							
事業の概要	<p>【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。</p> <p>【内容】 プロなどの音楽家によるコンサートを気軽に楽しめる機会として、区役所等のロビーを活用したコンサートを開催し、本格的なホールでの音楽鑑賞の機会として、高津市民館大ホールでのコンサートを開催する。また、これらコンサート開催に向けた企画運営を行う。</p>						
	実施期間	事業開始年度 平成16年	事業終了年度 —	予算中事業	地域資源活用事業費		
地域の課題と現状	<p>【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。</p>						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,000	929	891	890	890	890
	財源内訳	国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	1,000	929	891	890	890

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 区民共通の財産である公共施設を、音楽を通してより身近に感じてもらうこと。 ● 音楽鑑賞機会を設けることにより、区民がゆとりとやすらぎを享受し、高津区に暮らす喜びを持ってもらうこと。 ● 音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ● プロなどの音楽家によるコンサートを区役所1階ロビー等にて行う(花コンサート、年10回) ● 通常のコンサートに来られない方への音楽鑑賞機会の提供(大きな花コンサート、年1回) ● 新たな客層への音楽鑑賞機会の検討等

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ● プロなどの音楽家によるコンサートを区役所1階ロビー等にて行う(花コンサート、年10回) ● 通常のコンサートに来られない方への音楽鑑賞機会の提供(大きな花コンサート、年1回) ● 新たな客層への音楽鑑賞機会としてかながわサイエンスパーク(KSP)にてコンサートを実施(平成29年度で3回目) 						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	大きな花コンサート来場者数		目標 実績	700 679	700 451	人
	2 成果指標	花コンサート in KSP 来場者数		目標 実績	500 400	500 220	人
	3 活動指標	大きな花コンサート開催回数		目標 実績	1 1	1 1	回
	4 活動指標	花コンサート開催回数		目標 実績	10 10	10 10	回

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	区内にある多様な音楽資源を活用し、個性と魅力にあふれ愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供し、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。そのための一環として、区役所等公共施設において、コンサートを実施する。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	対象が区役所に集まる区民ということから客層が固定化傾向にあった。ビジネスマンや地域の方など新たな客層を取り込むために、平成27年度からかながわサイエンスパーク(KSP)での開催を実施している。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の音楽文化の振興という意味で役割を果たしていると考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	アンケート結果から、80%以上が「良かった」と回答しており、市民から一定の評価はあると考えられる。また、大きな花コンサートなど応募者数の増加から、成果は順調に上がっていると考えられる。(事前申込みは1042名の申込みがあったが、コンサート当日は台風の影響で来場者は少なかった。)	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現状の予算でも厳しい状況ではある。事務については、委員で分担できないか検討を進めていく。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	平日の昼間のコンサートで来場者の固定化が懸念されるため、KSPのような様々な客層が見込める施設での開催を続け、より多くの区民にゆとりと安らぎの時間を提供していく。出演者からの意見も参考にし、曲目などコンサートの内容がマンネリ化しないよう検証・見直しをしながらの継続を目指していく。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード					地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小		
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(高津区民音楽祭)	
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先
			671700	地域振興課		廣岡	64356

事業の概要

事業の概要		【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】 高津区民音楽祭に向けた企画・運営を行い、運営委員会や参加グループミーティングを通じて参加する市民音楽グループ同士の交流を図り、企画や準備段階から携わる参加型の高津区民音楽祭を開催する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
		平成2年度	—						
地域の課題と現状		【音楽事業共通】 区内の多様な音楽事業を活用し、個性の魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。 また、市民協働で取り組むことで、区民ニーズに即したコンサート等を開催するとともに、協働のまちづくりの推進が求められている。							
予決算 (単位:千円)		年度		H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額		
事業費		1,125	1,031	1,247	1,246	1,166	1,165		
財源内訳		国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
		一般財源	1,125	1,031	1,247	1,246	1,166	1,165	

計画 (Plan)

事業の目的	地域に芽生えた音楽を通して、音楽を愛する区民同士の交流を深め、その輪を広げるとともに、歴史と伝統に育まれたまち・高津の音楽文化の発展を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	音楽に造詣の深い地域団体と市民が協力して企画運営を行い、参加する市民音楽グループが企画運営や準備に携わる参加型音楽イベントを中心とした高津区民音楽祭を開催する。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	会場①:川崎市民プラザ屋内広場 11月25日(土)15時~18時 ●参加グループ 7 ●来場者 約260人 会場②:高津市民館大ホール 12月2日(土)14時~17時15分 ●参加グループ 9 ●特別企画 1 ●来場者 約620人 12月3日(日)14時~16時15分 ●参加グループ 11 ●来場者 約650人						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	参加申込団体数	目標		23	23	団体
			実績	23	28	27	
	2 成果指標	区民音楽祭来場者数	目標		1,450	1,250	人
			実績	1,450	1,250	1,530	
3		目標					
4		目標					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	区内の多様な音楽事業を活用し、個性の魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進するために、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図る必要がある。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 27 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	自分たちの活動の場として参加するグループが多いため、ゲスト枠を廃止し、参加団体、来場者皆で歌えるコーナーを作った。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	参加団体数、来場者数ともに増加しており、ニーズは高いと思われる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	来場者アンケートで満足と回答した人は7割を超えている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	参加団体の役割分担や、広報の協力など改善を進めていく。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	今年度は楽器日程の参加団体が多くまたバラエティに富んでおり、来場者にも好評だった。引き続き参加団体の募集の広報を積極的に行い、出演団体を確保するとともに、実施結果を検証し、多くの来場者を得られるよう改善を重ねていく。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード					地域課題対応事業 予算小事業名称					
款	項	目	大	中	小					
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(子どもの音楽文化体験)				
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先	
			671700		地域振興課			中澤	64355	

事業の概要								
事業の概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】 子どもたちが本物の音楽文化に触れる機会を提供すること、これにより音楽文化を生み出す心を育むことを目的に、音楽鑑賞体験及び演奏体験ワークショップ等を実施する。							
	実施期間	事業開始年度 平成18年度	事業終了年度 —	予算中事業	地域資源活用事業費			
地域の課題と現状	【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1,367	1,309	1,651	1,650	1,651	1,650	
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
		その他特財		300	281	400	360	
		一般財源	1,367	1,309	1,351	1,369	1,251	1,290

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 区内の子どもたちに、本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに、子どもの情操教育に寄与すること。 保護者との共通体験を創出する機会を提供することで、子どもによる将来の音楽文化を生み出す力を育てること。 区内の音楽資源と区内の市民活動の拠点を活用することで、音楽によるまちづくりに寄与すること。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 身近な場所での音楽体験:こども文化センター等への演奏者派遣 1回×7ヶ所 家族単位による音楽鑑賞体験:洗足学園音楽大学内で開催される公演への無料招待 1回 ホールでの音楽鑑賞体験:洗足学園音楽大学講師等プロによるオペラ公演の開催 1回(2回公演) 演奏体験ワークショップ:小学生を対象とした打楽器演奏体験 1回(練習3回+発表) 音楽体験を通じた子どもの情操教育:未就学児を対象としたリトミック体験 1回

実施結果 (Do)						
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った			
		2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った			
		3. ほぼ目標どおり				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> こども文化センターへの演奏者を7ヶ所に派遣(8/30高津、10/10上作延、11/2東高津、12/21子母口、12/25末長、12/25梶ヶ谷、3/22二子) 洗足学園音楽大学内で開催される公演への無料招待を2回実施(11/10着ぐるみ人形劇「ぐりとぐら」、12/6パイプオルガン・コンサート「聖なる季に集うミュージアムの響き」) ホールでの音楽鑑賞体験:子どもから楽しめるオペラ「泣いた赤鬼」を1回実施(9/2(2回公演)) 演奏体験ワークショップ:小学生を対象とした打楽器演奏体験を1回実施(練習:11/1、11/15、11/29、発表:12/2) 音楽体験を通じた子どもの情操教育:未就学児を対象としたリトミック体験を1回実施(3/4) 					
数値で把握することが可能な取組		指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	成果指標 オペラ公演「泣いた赤鬼」来場者	目標 818	1,000	1,000	人
	2	活動指標 こども文化センター等への演奏者派遣	目標 7	8	7	回
	3	活動指標 洗足学園音楽大学講師等プロによるオペラ公演の開催	目標 1	1	1	回
	4	活動指標 未就学児を対象としたリトミック体験	目標 1	1	1	回

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	都市化に伴い子育て世代が増加傾向にある中、個性と魅力にある愛着がもてるまちづくりを推進するための一つの方法として、区内の多様な音楽資源の活用し、子どもたちに本物の音楽文化に触れる機会を提供するとともに地域の音楽文化の振興を図る必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	平成27年度より、未就学児を対象に親子リトミック体験会を実施している。平成28年度より、年齢層に合わせて4クラスを実施している。		
	評価項目	評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない	a
	評価の理由	コンサート等では多くの来場者を得ていることから依然としてニーズは高いと思われる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている	a
	評価の理由	オペラの来場者やリトミックの申込者が増加するなど、成果は上がってきている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない	b
	評価の理由	現状の予算でも厳しい状況ではあるが、事務については役割分担できないか検討する余地がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(高津クラシックコンサート)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課		伊藤・堤	814-7603	

事業の概要

事業の概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】 高津市民館ホールで、プロの音楽家と地域で活動しているアマチュア演奏家で構成するウインドオーケストラによるコンサートを開催し、区民が身近な地域で良質なクラシック音楽を気軽に楽しむ機会を提供する。							
	実施期間	事業開始年度 平成26年度	事業終了年度 —	予算中事業	地域資源活用事業費			
地域の課題と現状	【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	440	435	440	440	440	440	
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
その他特財							311	
一般財源	440	435	440	440	440	129		

計画 (Plan)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●区民共通の財産である公共施設を、音楽を通してより身近に感じてもらうこと。 ●音楽鑑賞機会を設けることにより、区民がゆとりとやすらぎを享受し、高津区に暮らす喜びを持ってもらうこと。 ●音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。
今年度の事業の取組内容	プロの音楽家や地域で活動しているアマチュア音楽家の出演による本格的なクラシックコンサートを開催

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	3月4日(日)に開催。全1回。					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	コンサートの実施(参加人数)	目標	430	430	人
			実績	388	374	
	2 成果指標	コンサートの実施(満足度)	目標	80	80	%
			実績	—	89	
3		目標				
		実績				
4		目標				
		実績				

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	音楽のまちづくりの推進に向けて、身近な施設で気軽に多様なジャンルの音楽に触れる機会を創出することが必要となっている。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成30年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 平成28年度に区民がより参加しやすくなるようチケット代金を見直した。また、平成29年度から、事業名称を「高津クラシックコンサート」に変更し、事業内容が明確に伝わるよう見直しを行った。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	毎年一定の参加者を得ており、ニーズが数値として現れていると考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	高い満足度やリピーターの存在から、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実行委員会と協働で事業を行う上で、進め方や実施時期等に改善の余地があるため。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 平成28年度外部評価の内容及び平成29年度事業実施結果を踏まえ、引き続き高津区音楽のまち推進事業全体の効果的な実施と事業PRIに向けて関係部署と年間調整を行い、事業を実施していく。
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(サロンDEコンサート)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課		伊藤・水野	814-7603	

事業の概要									
事業の概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】 市民が企画・運営に関わり、手作りのコンサートを開催する。主に地域の人材・団体に出演を依頼し、談話コーナーを活用した申込不要のサロンDEコンサート、子どもとその保護者を対象とするおやこDEコンサート、大ホールを利用したホールDEコンサートを開催する。								
	実施期間	事業開始年度 平成23年度	事業終了年度 —	予算中事業	地域資源活用事業費				
地域の課題と現状	【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。								
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度			
		予算額		決算額		予算額		決算額	
		354		354		354		354	
		354		354		354		354	
財源内訳	事業費	354		354		354		354	
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
一般財源	354		354		354		354		

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●区民共通の財産である公共施設を、音楽を通してより身近に感じてもらうこと。 ●音楽鑑賞機会を設けることにより、区民がゆとりとやすらぎを享受し、高津区に暮らす喜びを持ってもらうこと。 ●音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ●サロンDEコンサート:高津市民館談話コーナーでの月1回(6月~1月)のミニコンサート ●ホールDEコンサート:サロンDEコンサート出演者による年1回のジョイントコンサート ●おやこDEコンサート:親子で楽しめる年2回のコンサート

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った		
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ●サロンDEコンサート:6月18日(日)、7月16日(日)、9月17日(日)、10月15日(日)、11月19日(日)、12月17日(日)、1月21日(日)。全7回。 ●ホールDEコンサート:3月11日(日)。全1回。 ●おやこDEコンサート:12月7日(木)、2月4日(日)。全2回。 						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	サロンDEコンサートの実施(参加人数)	目標	550	550	人	
			実績	587	565	634	
	2 成果指標	おやこDEコンサートの実施(参加人数)	目標	550	360	人	
			実績	580	709	451	
3 成果指標	ホールDEコンサートの実施(参加人数)	目標	500	500	人		
		実績	560	430	387		
4 成果指標	各コンサートの実施(満足度)	目標	80	80	%		
		実績	—	96	95		

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	音楽のまちづくりの推進に向けて、身近な施設で気軽に多様なジャンルの音楽に触れる機会を創出することが必要となっています。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	平成27年度に、幼児の生活リズムを踏まえ、おやこDEコンサートの開催時間帯を午後から午前中に移行した。また平成29年度は、来場者が少なかった夏のおやこDEコンサートを見直し開催回数を年2回とした上で、平成28年度外部評価の内容に基づき出演者謝礼の一部増額を行った。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	いずれのコンサートも一定の参加者を得ており、ニーズが数値として現れていると考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	高い満足度やリピーターの存在から、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実行委員会と協働で事業を行う上で、進め方や実施時期等に改善の余地があるため。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	平成28年度外部評価の内容及び平成29年度事業実施結果を踏まえ、引き続き高津区音楽のまち推進事業全体の効果的な実施と事業PRに向けて関係部署と年間調整を行い、事業を実施していく。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	05	高津区音楽のまち推進事業費(ブラザ橋みんなで楽しむ音楽事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課(橋地区担当)		高橋	788-1531	

事業の概要							
事業の概要	【音楽事業共通】 区民や地域の多様な主体との協働により、様々な音楽イベントを開催する。 【内容】 ブラザ橋にて、小さい子どもからシニアの方まで楽しめる「たちばなファミリーコンサート」を年3日(実施4回)開催。また、「おはよう！歌の広場」を年10回実施し、シニア層を中心に、気軽に集い、歌を通して交流が図れる場を提供する。						
	実施期間	事業開始年度 平成25年度	事業終了年度 —				
地域課題と現状	【音楽事業共通】 区内には多様な音楽資源があり、それらを活用して個性と魅力にあふれ、愛着が持てるまちづくりを推進する必要がある。そこで、音楽を通して区民にゆとりと安らぎを提供するとともに、地域の音楽文化の振興を図るために、市民と協働して区民ニーズに即したコンサート等を開催している。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
	事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	国庫支出金						
	市債						
	その他特財						
	一般財源	287	287	290	290	290	289

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●区民共通の財産である公共施設を、音楽を通してより身近に感じてもらうこと。 ●音楽鑑賞機会を設けることにより、区民がゆとりとやすらぎを享受し、高津区に暮らす喜びを持ってもらうこと。 ●音楽のまちを推進することにより、区民同士の出会いと交流を促進し、地域文化の向上・活性化に寄与すること。
今年度の事業の取組内容	ブラザ橋にて、子どもからシニアの方まで楽しめる「たちばなファミリーコンサート」を年3日(実施4回)開催する。また、「おはよう！歌の広場」を年10回実施し、シニア層を中心に気軽に集い、歌を通じた交流が図れる場を提供する。

実施結果 (Do)						
上記取組内容に対する達成度	3 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	コンサートについては、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の参加を得て平均で100名を超える参加となった。アンケートでは、90%以上の方が「良かった」と回答している。自由記述では、参加型・体験型が高く評価されており、ねらいが受け止められていると思われる。「おはよう！歌の広場」は、2月の回が講師の体調不良により延期となり3月に2回実施したが、参加人数は前年度同様増加傾向にあり、好評を得ているとともに、リピート率も高く定着したイベントとなっている。					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 成果指標	たちばなファミリーコンサート・年3日(実施4回)の開催(合計参加人数)	目標 — 実績 470	480 469	470 445	人
	2 成果指標	おはよう！歌の広場・全10回の実施(合計参加人数)	目標 — 実績 1,167	1,200 1,436	1,300 1,253	人
	3 成果指標	たちばなファミリーコンサート・年3日(実施4回)の開催(満足度)	目標 — 実績 80	80 84	85 92	%
	4 成果指標	おはよう！歌の広場・全10回の実施(ニーズの調査)	目標 — 実績 —	80 80	85 95	%

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	新たな居住者の増加及びコンサートのニーズの拡大		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施(直近)平成29年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 2歳以上を対象としていた、夏の洗足学園音楽大学のコンサートについて、0歳から参加できる回を設け、参加者の拡大を図った。また、午前は小さいお子さんから参加でき、午後は対象年齢を少し上げて大人の方にも満足してもらえるように対象を分けて実施し、参加者の満足度をさらに引き上げることができた。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	橋地区の地理的条件を考えると、シニア世代の増加も伴い、身近な場所での事業実施のニーズは薄れていない。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	夏のコンサートの対象年齢を見直したことで人数が増加したり、おはよう歌の広場のリピート率が上がる等の傾向があるため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実行委員会と協働で事業を行う上で、進め方や実施時期等に改善の余地があるため。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 今年度は平成28年度外部評価の内容を踏まえ、高津区音楽のまち推進事業全体の効果的な実施と事業PRIに向けて関係部署と日程調整等を行い、事業を実施することができた。コンサート年3回の開催は継続し、地元の洗足学園音楽大学のコンサートの回は、学生にとっても貴重な機会であり、企画内容を検討しつつ継続する。他の2回はできるだけ地域の音楽団体・音楽家などを招へいしていく。子どもの声などが気になるとの感想もあり、本事業ねらいを伝えるとともに、席のレイアウトやプログラムを工夫していく。 「おはよう！歌の広場」は、平成29年度の参加状況やニーズを踏まえ、引き続き年間10回実施し、シニア世代の地域交流の場としての更なる定着をめざす。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	10	高津区子どもフェア事業費			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		地域振興課			渡邊	64352

事業の概要									
事業の概要		区内の主要な地域資源である多摩川の河川敷を会場とし、残された豊かな自然環境を利用した催しを実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
		平成4年	—						
地域の課題と現状		都市化が進み、子どもたちが地域の自然と触れ合いながら遊べる機会が減る中、自然と触れ合う場を提供する。							
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度		
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	600	600	600	600	600	600	
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
その他特財									
一般財源	600	600	600	600	600	600			

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもたちに、自然に恵まれた多摩川で多くの仲間との遊びや創作活動を通じて河川愛護、自然環境を守る大切さを理解させるとともに、仲間作りや子ども同士の触れ合いの中で子どもの健全育成を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	各団体からの推薦者により構成される運営委員会を組織し、運営委員会を主体に催しを企画・運営をする。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	高津区子どもフェア運営委員会に委託し、8月27日(日)に実施。「どろ船レース」、「うなぎ・ドジョウ・あゆのつかみ取り」等を行った。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	成果指標	子どもフェア参加人数	目標		1,500	1,500	人
				実績	1,500	1,500	1,500	
	2			目標				
				実績				
3			目標					
			実績					
4			目標					
			実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		川崎市内は都市化とともに自然環境が減少していると言われて久しい。自然とふれあうことは幼少期の情操教育には大切であり、その機会を提供することが求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	都市化が進み、子ども達が地域の自然とふれあひながら遊べる機会が減るなか、自然とふれあう場を提供する意義は大きい。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	非日常的な経験を通じた親子関係や友人との新たな結びつきを図ることに大きな効果があった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体等と協議を行い、実施方法等の改善を進める。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	都市化が進み、地域の自然とふれあう機会が減るという環境の変化に対応することは必要である。 そのため、地域の自然環境である多摩川を通して、また、多世代と交流し、様々な動植物と接する機会を提供するために広報を工夫するなど引き続き見直し・改善のうえ継続していく。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	15	「たちばな農のあるまちづくり」推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		椎野	64355	

事業の概要							
事業の概要	推進方針を推進するための5つの行動計画を展開実施する。 ● 農業者と区民が協働し、食と農の地域資源を発見 ● 地産地消と子どもの食育を結び、次世代に伝える。 ● 市民パワーによる地域資源の活性化、ネットワーク化の推進 ● 食と農の交流拠点の場の展開 ● 戦略的広報の実施						
	実施期間	事業開始年度 平成21年度	事業終了年度 —	予算中事業	地域資源活用事業費		
地域の課題と現状	現在、食に関する「地産地消」「食」について考える「食育」など、社会全体で注目が集まっており、「食」の基盤となる「農」への関心も高まっている。そのような社会ニーズを踏まえ、高津区の橋地区における「農」の地域資源を活用しながら、地元への愛着や誇りを育み、「食」と「農」を活かしたまちづくりの推進が求められている。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,324
	財源内訳	国庫支出金					
		市債					
		その他特財					
		一般財源	1,400	1,400	1,400	1,400	1,324

計画 (Plan)	
事業の目的	橋地区における地域資源(都市農業、歴史的資源、緑地、各種活動等)を活用した地域活性化
今年度の事業の取組内容	● 「たちばな農のあるまちづくり」推進会議の開催(年3回) ● たちばな農の魅力を発信するファーマーズマーケット「高津さんの市」の久本業医門公園を活用した定期開催と、区内各所での「出張さんの市」の開催等 ● 情報発信拠点としての店舗(メサ・グランデ等)の活用、拡大

実施結果 (Do)							
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	・推進会議開催 4/8,7/14,2/4 年3回 ・「高津さんの市」開催 4/16,6/18,8/20,10/15,12/17,2/18 年6回 ・出張「高津さんの市」開催 5/28,7/26,10/8,11/8,11/26 年5回 ・情報発信拠点として、メサ・グランデや小黒童謡記念館等でチラシを配架						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	「高津さんの市」の開催	目標	8	8	回
				実績	7	11	
	2	活動指標	「たちばな農のあるまちづくり」推進会議の開催	目標	3	3	回
				実績	3	3	
3			目標				
			実績				
4			目標				
			実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	昨今、都市農業への注目が高まるなか、農のあるまちづくりの重要性も高まっている。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	事業の体制が概ね確立されたことを踏まえ、受託先について、NPO法人から市民主体の推進会議へ変更した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	都市農業への注目が高まっており、事業に対するニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	直売の魅力や地産地消の社会ニーズを踏まえ、「高津さんの市」開催機会増加により認知度も向上していることから、成果は上がっていると考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	推進会議等において検討を進める必要がある。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	
			「高津さんの市」などの取組が区民に定着化していることに加え、都市農業が見直されている昨今、農のあるまちづくりの重要性が高まっていることから、引き続き、農業者と区民と行政が協働して取組を行う体制の構築を図る。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	20	高津区総合ガイドマップ作成事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		椎野	64355	

事業の概要									
事業の概要		区民が、区に関する基礎的な情報を身近に得られることで安心して日常生活を送れるよう、区内の地図や公共施設一覧、バス路線図、防災情報、区役所の電話番号案内などを掲載した総合ガイドマップを作成し、区役所にて転入者全世帯に配布するとともに、区内各公共施設にて希望する区民に配布する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
		平成23年度	—						
地域の課題と現状		区民が安心して日常生活を送れるよう、区に関する基礎的な情報を身近に得られる環境を整える必要がある。							
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度		
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費	1,015	906	1,015	906	915	906	
		財源内訳	国庫支出金						
			市債						
一般財源	1,015	906	1,015	906	915	906			

計画 (Plan)	
事業の目的	区民が区に関する基礎的な情報を得て、安心して日常生活を送れるようにする。
今年度の事業の取組内容	区民意見を反映したガイドマップの作成・配付、効果的な広告募集方法の検討

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	ガイドマップの作成 25,000部 区内公共施設等15箇所、その他市内4ヶ所に配架。広告掲載12件。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	ガイドマップの作成	目標	25,000	25,000	25,000	部
				実績	25,000	25,000	25,000	
	2			目標				
				実績				
3			目標					
			実績					
4			目標					
			実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	区内転入者の増加などに伴い、区に関する基礎的な情報を提供することが引き続き求められている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近)平成 27 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	アンケート調査に基づき、従来サイズから小型化した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	毎年、地図面や記載情報の更新があるため、ニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	転入世帯以外にも、配付要求があることから一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	前年度配布部数の検証により、適当な作成部数への見直し検討を継続する。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区内施設の変更や掲載情報に関する調査や、市民アンケートに基づく実現可能な変更などによる見直しを行う。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	25	高津区政情報発信事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		戸田	64121	

事業の概要								
事業の概要		高津区の区政情報を広く区民に周知するため、市政だよりなどの紙媒体だけでなく、インターネット等多角的な広報媒体を活用して、効果的な情報発信を行う。ホームページの一部については、専門的技術による作成やメンテナンスが必要な部分の更新作業を委託する。						
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費			
		平成21年度	—					
地域の課題と現状		多様化する生活様式のなかで、一人でも多くの区民に適切な情報を伝達できるよう配慮する必要がある。						
予決算 (単位:千円)		年度	H27年度		H28年度		H29年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		事業費	1,003	1,002	634	518	670	655
財源内訳		国庫支出金						
		市債						
		その他特財	484	484				
		一般財源	519	518	634	518	670	655

計画 (Plan)	
事業の目的	様々な媒体を通じて、区政情報を広く区民に届けることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	(1)ホームページの一部について、専門的技術による作成やメンテナンスが必要な部分の更新作業を行う。 (2)対象となる外部サイトについて、ウェブアクセシビリティJIS試験を実施する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	(1)エコシティかつのホームページについて、専門的技術による作成やメンテナンスが必要な部分の更新作業を行った。 (2)高津区ふるさとアーカイブホームページについて、専門業者と相談し、JIS試験は実施しなかったものの、JIS X 8341-3:2016の基準に基づき、試験の前段階として問題点等の現状把握を行った。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標			H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標	ホームページの更新	目標		1	1	回
				実績	1	1	1	
	2	活動指標	ウェブアクセシビリティJIS試験の実施	目標		—	1	回
				実績	—	—	0	
	3			目標				
				実績				
	4			目標				
実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	総務省「みんなの公共サイトガイドライン(2016年版)」により、これまで以上に高いレベルでウェブアクセシビリティを確保することが求められている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近)平成 29 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	今年度から、総務省「みんなの公共サイトガイドライン」で示された基準を達成するための取組を開始した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	総務省「みんなの公共サイトガイドライン(2016年版)」により、これまで以上に高いレベルでウェブアクセシビリティを確保することが求められているため。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	エコシティかつのふるさとアーカイブのホームページについて、内容の充実や問題点の把握ができたため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	エコシティかつのホームページをCMSへ移行することができれば、現状の事業費を50%程度削減できる可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		エコシティかつホームページについて、CMSへの移行の可能性を探りつつ、内容の充実を図るとともに、ふるさとアーカイブのウェブアクセシビリティの向上に向けて取り組んでいく。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	30	ニヶ領用水久地円筒分水修景施設管理運営事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		地域振興課		石丸	64351	

事業の概要

事業の概要	円筒分水修景施設の軽易な清掃や植栽の手入れ、日常的な点検等について、地域住民を中心として組織された管理運営組織(久地円筒分水サポートクラブ)の活動を支援する。 また、植栽の剪定など専門的な業務については、道路公園センターと連携を図りながら、専門業者に委託して実施する。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
	平成22年度	—						
地域の課題と現状	高津区久地に位置するニヶ領用水久地円筒分水は、川崎市初の国登録有形文化財(建造物)であり、区のシンボリックな存在である。 そこで、平成21年度までに整備を行った円筒分水周辺の修景施設について、区の観光資源として、また、区民の憩いの場として、区民と協働で良好な状態に保つとともに、地域コミュニティの場としてさらに活用し、地域の魅力づくりを進めていく。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	548	504	548	493	506	497	
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
その他特財								
一般財源	548	504	548	493	506	497		

計画 (Plan)

事業の目的	平成21年度までに整備を行った円筒分水周辺の修景施設について、区の観光資源として、また、区民の憩いの場として、引き続き区民と協働で良好な状態に保つ。
今年度の事業の取組内容	(1) サポートクラブとの協働により、月1~2回、1時間程度の美化清掃活動等を実施する (2) サポートクラブのメンバー増員を目的に、一般区民を対象とした体験イベントの開催等を実施する (3) 維持管理に係る専門的な業務について、道路公園センターと連携を図りながら専門業者に委託して実施する

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> サポートクラブとの協働による美化清掃活動等を実施 美化活動体験イベントの開催(1回)、中原散策ガイドの会への円筒分水ガイドの実施(対象400人) 維持管理に係る専門的な業務について、道路公園センターと連携を図りながら専門業者に委託して実施した。 						
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位	
	1 活動指標	サポートクラブとの協働による美化清掃活動	目標		16	17	回
			実績	14	17	17	
	2 活動指標	一般区民を対象として体験イベントの開催	目標		1	1	回
			実績	0	2	1	
3		目標					
		実績					
4		目標					
		実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	サポートクラブメンバーの高齢化が進んできている。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載 平成28年度からサポートクラブの自主的な活動として、市公園緑地協会の助成金を活用した花植えプロジェクトをスタートするとともに、サポートクラブの新たなメンバーの確保を目的として、一般区民を対象とした美化活動体験イベントを開催している。平成29年度は美化活動体験イベントを契機として3名の新規メンバーが加入した。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津区役所が区のシンボルとして河川占用している広場を適切に維持管理していくためには、引き続き区民との協働により効率的に事業を推進する必要がある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	サポートクラブとの協働により効率的かつ効果的に広場を維持管理するとともに、サポートクラブが施設のガイド等を行うことで魅力も発信するなど、一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	サポートクラブがより自立的に活動できるような支援手法を引き続き検討するとともに、専門的な維持管理については道路公園センターと協議を行いながら効率的かつ効果的な手法を検討していく。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	今後もサポートクラブとの協働により広場を適切に維持管理するとともに、サポートクラブがより自立的に活動できるような支援手法を引き続き検討していく。また、専門的な維持管理については道路公園センターと協議しながら効率的かつ効果的な手法を検討していく。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	35	高津区文化振興事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671750		生涯学習支援課		堤・関野	814-7603	

事業の概要

事業の概要	高津区内の歴史的・文化的資源を中心に、区民が地域の魅力を再認識する機会を提供するとともに、その魅力を自ら発信するボランティアガイドを養成することで、ふるさと意識の醸成と文化都市・高津の創造を推進する。							
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
	平成21年度	—						
地域の課題と現状	高津区には、大山街道や市内初の国史跡橋樹官衙遺跡群等、多くの歴史的・文化的資源が存在する。宅地化の進展等による人口増加傾向、転入者に占める子育て世代の割合の高さ、高い出生数等を踏まえ、まちの魅力、歴史や文化についての再認識を進め、次代に引き継ぐ取組を進める必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	258	258	258	258	247	245	
	財源内訳	国庫支出金						
		市債						
その他特財		20	20	20	20	9	7	
一般財源	238	238	238	238	238	238		

計画 (Plan)

事業の目的	高津区内の歴史的・文化的資源を活用し、区民が愛着と誇りを持てるまちづくりを推進する。
今年度の事業の取組内容	平成26年度から平成28年度の3か年で養成した区民ボランティアガイドによる「高津のさんぽみちガイドツアー」を実施する。併せて、ボランティアガイドのスキルアップに向けた研修を通年開催する。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	高津のさんぽみちガイドボランティア内部研修:4月28日(金)~3月23日(金)。全12回。 高津のさんぽみちガイドツアー「子母口・千年コース」:9月9日(土)、12月12日(火) 高津のさんぽみちガイドツアー「久本山コース」:3月3日(土)					
数値で把握することが可能な取組	指 標		H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	高津のさんぽみちガイド事業の実施(回数)	目標	1	3	回
			実績	—	3	
	2 成果指標	高津のさんぽみちガイド事業の実施(参加者数)	目標	—	60	人
			実績	—	67	
3 成果指標	高津のさんぽみちガイド事業の実施(満足度)	目標	—	80	%	
		実績	—	96		
4 活動指標	ボランティアガイド研修の実施(回数)	目標	—	12	回	
		実績	—	12		

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	転出入率が高く、出生数も市内で2番目に高い高津区では、新旧住民による地域資源・文化の継承に向けた取組がより重要となっている。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近)平成 29 年度 □ 今後実施(平成29年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	平成27年度から、地域人材の活用による事業推進に備え、高津のさんぽみちボランティアガイド養成講座に特化し、区民ガイドを養成してきた。平成29年度から養成講座を修了した区民ガイドによる「高津のさんぽみちガイド事業」に移行し、併せて区民ガイドのスキルアップに向けた研修を進めた。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	転出入率や出生率が高い高津区では、地域の魅力を見直し、再発見する機会の提供と区民自ら地域の魅力を発信し、次代に引き継ぐ取組が必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	高い満足度やリピーターの存在から、一定の成果があったと考えられる。また、参加者の区民ガイドに対する評価の高さに、研修の成果が現れていると考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実行委員会と協働で事業を行う上で、進め方や実施時期等に改善の余地があるため。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	「高津のさんぽみちガイドツアー」を引き続き実施するとともに、区民ガイドのスキルアップに必要な研修を実施していく。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	40	大山街道周辺整備活性化事業費			
担当		所属コード		所属名		担当者	連絡先		
		671700		地域振興課		廣岡	64355		

事業の概要

事業の概要	大山街道のまちづくりに関心を持つ人が増えるよう、魅力的な空間創造と計画的かつ総合的な地域活性化のための取組みを、高津大山街道及びその周辺に残っている歴史的・文化的な地域資源を保全・活用するため策定した高津大山街道マスタープランに基づき、大山街道アクションフォーラム(以下「AF」と表記)を中心に進める。						
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費			
	平成21年度	—					
地域の課題と現状	大山街道を核とした具体的な地域活性化策の実施及び歴史的な資源を生かした環境整備を通じ、交流人口を増加させ、商店街やコミュニティを活性化させることが課題である。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,430	1,894	2,100	2,066	2,100	1,901
	財源内訳						
	国庫支出金						
	市債						
	その他特財						
	一般財源	2,430	1,894	2,100	2,066	2,100	1,901

計画 (Plan)

事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> AFの継続的な開催を通じて地域コミュニティの活性化を図るとともに、AFの自立的な運営体制を確保する。 大山街道沿道の施設や大山街道が通る他都市など周辺資源との連携により、回遊性ある魅力的なまちづくりを実現する。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> AFを企画、開催する(年2~3回) 大山街道ふるさと館の多目的活用や新住民の参加促進に係るイベント等を企画・開催する。 多世代交流を促進するイベントとして「二子の渡し」を前年度に引き続き実施する。 沿道他地域と連携したイベントを企画・実施する。

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> ●AF運営委員会の企画によりAFを3回開催(6月28日-82名、10月18日-50名、2月3日-37名)した。リノベーション、シェアに関する講演など、開催内容を工夫し多くの参加者を得た。 ●AFで提案された景観演出の取組みとして、街道沿いの6物件に太鼓幕を設置した。 ●AFのアイデアを実現するイベントとして、大山街道フェスタ実行委員会やふるさと館と連携を取りつつ、「大山みちまちウィークエンド」を開催した(2月25日、カレーフェスタ4000食販売、絵付けワークショップ、てづくり市、料亭やよいでのお茶席、お座敷遊び)。 ●二子の渡し体験を開催した(11月3日)。 ●宮前区と共催で2日間に亘り、公募による大山街道ウォーキングを開催した(10月4日・11日、2区計44名参加)。 					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	大山街道アクションフォーラム(開催回数)	目標 実績 2	3 3	3 3	回
	2 成果指標	宮前・高津ウォーキング(参加人数)	目標 実績 55	50 45	50 44	人
	3 活動指標	太鼓幕の設置物件	目標 実績 5	5 6	5 6	棟
	4		目標 実績			

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	今年度、伊勢原市で「大山詣」が日本文化遺産に認定されたことから、大山街道は注目を集めている。その大山街道を核とした具体的な地域活性化策の実施及び歴史的な資源を生かした環境整備を通じ、交流人口を増加させ、商店街やコミュニティを活性化させることが求められている。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 25 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	以前はコンサルタントに事業を委託していたが、現在は沿道の住民や企業などで組織されている「大山街道アクションフォーラム運営委員会」でイベントなどを企画・運営しており、住民のニーズにあったイベントを住民の協力の下行われるようになった。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	大山の文化的価値が再認識されており、事業に対するニーズは高まっている。また、人口の増加に伴い、交流の活性化が求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	昨年度と比べてイベントの参加人数は増加しており、住民の交流を促進している。また、今年度で太鼓幕の設置は計17ヶ所となり、景観演出に一役買っている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	運営委員会の委員を増やし、多様な意見を反映できるようにする。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	引き続き、AF運営委員会を中心に事業を推進しつつ、新規委員の獲得や大山街道ふるさと館との連携促進を支援する。また、平成30年度のマスタープラン計画期間終了を見据え、今後の事業展開について検討を行う。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	45	高津区地域資源ネットワーク事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		高橋	64123	

事業の概要

事業の概要	区内の地域資源を活かした魅力的なまちづくりを推進するため、平成23年度策定の「高津区公共サイン整備指針」に基づき、高津のさんぼみちのサイン整備及びガイドマップの制作を行う。また、広告収入を活用した維持管理手法の社会実験を推進しながら、区内の既存サインの改善を進める。						
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費			
	平成23年度	—					
地域の課題と現状	高津区の歴史・文化・自然などの地域資源を結ぶ高津のさんぼみち(6コース)については、案内サインが設置されていない、経路が複雑である、詳細なガイドマップがないといった課題がある。また、高津のさんぼみちが設定されていない地域もある。溝口駅南口広場整備にあわせて総合案内板が整備される一方で、既存公共サインは表示内容が古い、デザインが統一されていない等の課題がある。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	4,050	3,194	3,000	2,995	3,038	2,934
	財源内訳	国庫支出金					
		市債					
	その他特財					389	
	一般財源	4,050	3,194	3,000	2,995	3,038	2,545

計画 (Plan)

事業の目的	(1) 高津区公共サイン整備指針に基づく高津のさんぼみち6コースの見直し、ガイドマップ作成及び道標設置 (2) 高津のさんぼみち新規コースの策定 (3) 既存公共サインの改善
今年度の事業の取組内容	(1) 高津のさんぼみち「円筒分水と久地不動尊コース」の道標整備及びガイドマップ作成 (2) 高津のさんぼみち「円筒分水と久地不動尊コース」におけるウォーキングイベントの開催 (3) 既存公共サインの表示内容の更新

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> 高津のさんぼみち「円筒分水と久地不動尊コース」の道標整備(3ヶ所)、ガイドマップ作成(3,000部)及びウォーキングイベント開催(11月12日) ※(株)ナビタイムジャパン、健康福祉局健康増進課、世田谷区、東急電鉄とも連携 高津駅周辺案内板の表示内容の更新 溝口駅南口広場総合案内板への広告掲載事業社会実験の推進(広告追加1事業者、落書き消し対応) 					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1	活動指標 高津のさんぼみちウォーキングイベントの開催	目標	1	1	回
			実績	0	1	
	2	成果指標 高津のさんぼみちガイドマップの作成	目標	3,000	3,000	部
			実績	3,000	3,000	
3	成果指標 高津のさんぼみち道標設置	目標	3	3	箇所	
		実績	4	3		
4	成果指標 既存公共サインの改善	目標	4	1	箇所	
		実績	0	4		

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> 公有財産の有効活用による公共サインの持続可能な維持管理の取組みが全国的に進んできている。 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて公共サインの多言語化が求められている。 		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(平成 年度から) 具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
	平成28年度に設置された溝口駅南口広場総合案内板に民間広告を掲載する事業を社会実験として実施することで、広告事業者の負担により当該案内板の維持管理を安定的に行うとともに、広告掲載料を徴収して区内既存公共サインの維持管理費用に充当する。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて公共サインの多言語化が求められており、事業のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ウォーキングイベントを多様な主体と連携して実施したことによって新たな周知を図れたことから、一定の成果があったと考えられる。また、公共サインの改善についても、多言語表記としたことから一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	公共サインの改善については、広告掲載事業社会実験(3年間)の効果等を検証しながら本格実施に向けた検討を進めていく。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	高津のさんぼみちについては、ガイドマップ発行等を踏まえたさらなる活用について検討していくことが必要であると考えられる。また、公共サインの改善については、広告掲載事業社会実験の効果等を検証しながら本格実施に向けた検討を進める必要があると考えられる。以上により、見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられる。

平成29年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	05	50	高津区ふるさとアーカイブ事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		企画課		戸田	64121	

事業の概要

事業の概要	高津のまちに関する資料(写真・刊行物等)の包括的な収集・整理・蓄積・保存・活用のあるり方を定めた「高津区ふるさとアーカイブ基本構想」に基づき、高津区全体の社会的資産としてこれらの資料の活用を図り、ふるさと意識や地域アイデンティティの醸成、地域ブランディングを進める。						
実施期間	事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費			
	平成24年度	—					
地域の課題と現状	高津のまちに関する各種資料が、年々地域から消えつつある。それらの散逸する資料を高津区全体の社会的資産と捉え、収集・整理・保存するとともに、市民・各種団体・行政等さまざまな主体が活用することが求められている。						
予決算 (単位:千円)	年度	H27年度		H28年度		H29年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,565	2,542	2,499	2,486	2,364	2,076
	財源内訳	国庫支出金					
		市債					
	その他特財					47	
	一般財源	2,565	2,542	2,499	2,486	2,364	2,029

計画 (Plan)

事業の目的	デジタルアーカイブ及びWEBサイトを運用し、高津区の写真を継続的に収集・保存するとともに、収集した写真の公開・活用を促進する。
今年度の事業の取組内容	(1) デジタルアーカイブ及びWEBサイトの運用 (2) 古写真を活用したワークショップの開催とスマホアプリへの成果の反映 (3) 平成24年度に発行した区制40周年記念誌の販売 (4) おはなしアーカイブの実施

実施結果 (Do)

上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	(1) デジタルアーカイブ及びWEBサイトを運用(約2,600点の写真を公開及び新規に200枚以上登録・公開)。 (2) 高津区ふるさとアーカイブワークショップを開催(委託先:計画技術研究所) 実施日:平成30年2月4日(日) 参加者:25名。成果をスマホアプリ「たかつぶらり」に登録。 (3) 区制40周年記念誌を57冊販売した。 (4) 溝口・久本・坂戸地区の15人に話を聞き、冊子にまとめたほかホームページにアップした。 (5) イトーヨーカドー溝ノ口店・マルイファミリー溝ノ口と連携し、古写真を活用した写真展を年3回開催。					
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標	H27年度	H28年度	H29年度	単位
	1 活動指標	ワークショップの実施	目標 実績 1	1 1	1 1	回
	2 活動指標	おはなしアーカイブの実施	目標 実績 15	20 20	15 15	人
	3 成果指標	記念誌の販売	目標 実績 56	50 53	50 57	冊
	4		目標 実績			

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化	高津のまちに関する各種資料が、年々地域から消えつつある。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 平成 28 年度 □ 今後実施(平成 年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	ワークショップ委託を特命随契から指名競争入札へ変え、委託料を減額した(H29)。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	高津のまちに関する各種資料が年々地域から消えつつあり、それらの散逸する資料を収集・整理・保存・活用することが求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ワークショップでは多世代交流により、まちの記憶の共有を促進できた。また、区制40周年記念誌は発行から5年以上が経過した現在も年間50冊前後の売り上げがある。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	高津区の歴史やアーカイブに関する知識を持つ市民団体等との協働・連携を進めたり、ホームページの維持管理業務の委託をすることで、事業をより効果的・効率的に進めることができる可能性がある。	

改善 (Action)

今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	デジタルアーカイブの安定的な運用を通じて、高津区の地域資料を継続的に収集・整理・保存し、ワークショップの開催などを通じて郷土愛を醸成していく。また、区政50周年等の新たな節目に向けてアーカイブの充実を図っていく。また、高津区の歴史やアーカイブに関する知識を持つ市民団体等との連携をより一層進めることについて検討していく。